平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯　昌司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	成果指標である審議会等女性委員割合が下がっていることから、室として委員を推薦できる体制を充実させるとともに、同体制を周知していく。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	女性委員のいない審議会等を抽出したうえで、その理由について調査し、個別に女性委員の登用について働きかけていく。
②①に基づく取組み結果	推薦体制の充実策として県の女性リーダー養成講座に1名の参加が得られた。また、男女共同参画関係団体からの推薦体制等について、庁内での周知に努めた。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図（対象をどうするのか）	全庁的に計画を推進することで、職場や家庭、地域等様々な場で女性の参画を促進していく。
②事務事業の概要	①鎌ケ谷市男女共同参画推進計画の進行管理の実施及び公表 ②鎌ケ谷市男女共同参画推進懇話会の開催			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	少子高齢化を起因とする人口減少問題などの解決に向け、家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を発揮していく男女共同参画社会の形成が重要となる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	推進懇話会を3回開催し、計画については「ほとんど実施できなかった」「実施していない」のそれぞれ1事業について担当課名を明記し、市ホームページにて進捗状況等を公表することで、市民への周知が図れた。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	審議会等女性委員割合	24.0	21.8	26.3	%	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		189	143	金額（千円）	内容	288
	国支出金（千円）			136	報償費	
	県支出金（千円）					
	市債その他（千円）					
	一般財源（千円）	189	143			288

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	男女共同参画意識の醸成には、男女共同参画室を中心とする庁内各担当課の「男女共同参画推進計画」に基づく、女性委員を推薦できる体制の充実などをはじめとする、地道な事業の実施が必要					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	計画の進行管理において、各事業の実績を踏まえた課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H25からの繰越	
				H25⇒26繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯　昌司			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	センターの役割や機能等について、あらためてセミナー、広報、ホームページ等あらゆる機会（媒体）を通じ、PRをしていくことで利用促進を図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	来所者数、イベント参加者数の増加を目的として、事業の企画、PRチラシの作成などに携わる職員、センタースタッフのスキルを向上させていく。
②①に基づく取組み結果	ホームページトップ画面の変更、各種事業でのセンターのPR、フェイスブック、ツイッターなどの活用により、来所者数対前年比147人増、HPアクセス数約2，400回増となった。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図（対象をどうするのか）	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要		①男女共同参画セミナーの実施 ②公募市民の編集委員による、男女共同参画情報誌「ほほえみ」の作成事業の実施 ③「女性のための相談」の実施		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		市民の趣味・志向が多種多様化してきていることから、事業の企画立案にあたっては、求めるニーズを把握しつつターゲットを絞った事業の実施が必要		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：男女共同参画週間事業、行政・市民企画セミナー等を実施し、延べ1，527人の参加を得られ、市民編集委員による企画・立案のうえ、情報誌を発行し市内全戸配布を行い、男女共同参画意識の醸成が図れた。また、女性のための相談では、135件の相談があった。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	男女が平等であると考える市民割合		20.1		%	市民意識調査
ii						
iii						

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	5,703	6,660			7,101
国支出金（千円）			892	報償費	
県支出金（千円）			2,621	非常勤職員賃金	
市債その他（千円）			1,469	委託料	
一般財源（千円）	5,703	6,660			7,101

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）：社会情勢等を考慮し、時代のニーズを的確に把握したセミナー等の実施が課題

②評価

i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		

③上記評価の理由：各種事業の参加状況やアンケート結果を踏まえたうえで課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H25からの繰越
				H25⇒26繰越			
③達成状況				補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					